

# Mit Takao und Jürgen durch Würzburg

Ausgabe mit  
Online-Stream

**Manshu Ide**



# ドイツ語圏略地図

(黄色はドイツ語使用地域)



## はじめに

「テキストを読めるようになるためのドイツ語文法の基礎」を学ぶことがこの教科書の目的である。ドイツ語テキスト理解力を養う教育からの経験にもとづいて、テキストを理解するためにはどの文法事項が重要か、という観点から文法項目を選び配列した。通常の入門教科書で扱われる文法事項に加えて、そこでは扱われない、または中級レベル以上とされるような事項も少なくない。通常扱われる文法事項でも、筆者独自の呼び方や配列になっているところも多い。例えば、格は1、4、3、2格の順に縦に並べ、1、4、3格と2格の間には「一線を画して」ある。名詞の性の配列も、男性、中性、女性の順になっている。これは、1、4、3格は動詞の格支配にかかわる格であるのに対し、2格は現代ドイツ語では動詞の格支配にはあまりかかわらないからである。1、4格の順にしてあるのは、男性名詞以外では1、4格は同じ形になるからである。男性、中性、女性の順になっているのは、男性と中性の間には形の上で共通するところが多いからである。詳細をあげていると限りがないが、この教科書が配慮している点は次の3つに集約される。

- 1) テキストジャンルの相違
- 2) 音声と音声の類似
- 3) リファレンスできる文法書

テキストジャンルの相違については、会話テキストと読み物テキストを交互に配置し、会話テキストでは口頭コミュニケーションに違和感のない文体、読み物テキストでは、会話には用いなくとも書きことばとして自然な文体に配慮した。接続法I式など、書きことばに典型的な文法事項では、例文や練習問題でも、そのような文法事項が用いられる書きことばに特有な、少々堅苦しい内容・表現になっている。

音声と音声の類似については、テキスト本文、文法解説の例文にすべてネイティブスピーカーによる音声をつけ、個々の単語の正確な発音はもとより、文中でのポーズやイントネーションを音から学べるように配慮してある。定冠詞・不定冠詞などの冠詞類と代名詞が比較的早い段階でしかも同時に配置してあるのは、冠詞類の語尾の音と代名詞の音の類似に注目し、同じ音であることを通じ、それぞれの性と格に典型的な音として格変化を覚えられるようにしてあるためである。冠詞類、代名詞、形容詞の語尾変化はひとつの表にまとめ巻末に掲載し、この表だけあれば名詞句の格変化はすべてわかるようになっている。同様に、不規則動詞の三基本形でも、通常のアルファベット順の一覧表以外に、語幹母音の変化パターン別に配列し、音声をつけた表があるのも、同じ響きであることを通じて不規則な三基本形を覚えやすくするためである。

リファレンスできる文法書という点については、この教科書を一通り学んだ後でテキストを読む際に、学んだ文法事項のどれがテキストの中で該当するかを確認するためのハンドブックとなるよう、文法説明を詳しくしてある。文法説明が詳細なため、自習用の教科書として役立つこともできる。文法を一通り学んだからといって即テキストが読めるようになるわけではなく、実際にテキストを読む中で同じ文法事項を繰り返して復習・確認することでその知識が確実に覚えてゆくものである。そのような復習・確認のために末永く使える教科書かつ文法書であることを願っている。なお、本書を教科書として刊行するに際して、出版を快諾して下さった朝日出版社の朝日英一郎氏、編集全般にわたって的確な助言を与えてくださった日暮みぎわ氏に、この場を借りて心から感謝いたします。

2009年9月30日

## WEB音声版に寄せて

最初に出版してから10年以上が経過した。外国語としてドイツ語を学ぶ際は必ず「基礎的文法事項」はどんなに技術やメディアが発展しても変わらないものである。本書の「コンテンツ」は文化史であり、時代遅れになるようなアクチュアルな内容でもないため、使い続けることができている。一方、学ぶための「ツール」は飛躍的に進化を遂げ、かつてはカセットテープ音声だったものがCDを経て、今ではネット経由ストリーミング、ひいては動画ストリーミングにまで発展してきている。コロナ禍オンライン授業下、動画ストリーミングも必要に迫られ普及した。新技術・メディアが発展すると従来のものとの間での役割分担が重要になってくる。古いものが新しいものに完全にとって代わられるまでには少々時間がかかるし、古いメディアの方が使いやすいと感じる人も少なくない。紙媒体の教科書は電源を必要とせず、いつでも手に取り、自筆で書き込みカスタマイズできるのがその優れた点であると筆者は思っている。この教科書も、昔ながらの紙媒体のまま、しばらく座右においてリファレンスできる文法書であって欲しいと願う。

2021年11月30日

## 音声ダウンロード



### 音声再生アプリ「リスニング・トレーナー」

朝日出版社開発の無料アプリ、「リスニング・トレーナー (リストレ)」を使えば、教科書の音声をスマホ、タブレットに簡単にダウンロードできます。どうぞご活用ください。

#### まずは「リストレ」アプリをダウンロード

» [App Store](#)はこちら

» [Google Play](#)はこちら



#### ▼ アプリ【リスニング・トレーナー】の使い方

① アプリを開き、「コンテンツを追加」をタップ

② QRコードをカメラで読み込む



③ QRコードが読み取れない場合は、画面上部に **25453** を入力し「Done」をタップします。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

## 音声ストリーミング

<https://text.asahipress.com/free/german/senmon/>

音声はこちらのページからストリーミング再生でも視聴できます。



# Mit Takao und Jürgen durch Würzburg

## 目 次

綴りと発音 .....	1
<b>Lektion 1</b> Takao und Jürgen .....	5
動詞の現在人称変化、動詞seinの現在人称変化、文の種類	
<b>Lektion 2</b> Würzburg .....	9
名詞の性と冠詞、名詞の複数形、辞書をひくときのポイント	
<b>Lektion 3</b> Im Spital Keller .....	13
名詞の格変化、人称代名詞・指示代名詞の格変化、 動詞habenの現在人称変化、否定冠詞と否定	
<b>Lektion 4</b> Die Festung Marienberg .....	17
不規則動詞の現在人称変化、前置詞の格支配	
<b>Lektion 5</b> Auf der Festung Marienberg .....	21
定冠詞類・不定冠詞類の格変化、男性弱変化名詞、 不定代名詞man, einer, keiner、非人称主語es／非人称動詞	
<b>Lektion 6</b> In der Altstadt .....	25
接続詞、分離動詞、非分離動詞、再帰動詞	
<b>Lektion 7</b> Auf dem Marktplatz .....	29
話法の助動詞、zu不定詞	
<b>Lektion 8</b> Die Würzburger Residenz .....	33
過去形／完了形、動詞の三基本形	
<b>Lektion 9</b> In der Würzburger Residenz .....	37
受動文、動詞の命令形、文内容をさす指示副詞と代名詞	
<b>Lektion 10</b> Weltkulturerbe Würzburger Residenz .....	41
形容詞格変化／比較変化、形容詞・分詞の名詞化	
<b>Lektion 11</b> Im Hofgarten der Residenz .....	45
関係代名詞	
<b>Lektion 12</b> Das Gespräch zwischen Takao und Jürgen .....	49
接続法Ⅰ式	
<b>Lektion 13</b> Takao und Jürgen beim Abschied .....	53
接続法Ⅱ式	
不規則動詞変化表 .....	57
ドイツ語名詞句格変化一覧表 .....	65
文法用語索引 .....	67

## Das Alphabet

大文字	小文字	読み	音価	大文字	小文字	読み	音価
A	a	[a:]	[ a ], [ a: ]	Q	q	[ku:]	[ k ]
B	b	[be:]	[ b ]	R	r	[εR]	[ R ], [ ɾ ], [ ə ]
C	c	[tse:]	[ ts ]	S	s	[εs]	[ s ], [ z ]
D	d	[de:]	[ d ]	T	t	[te:]	[ t ]
E	e	[e:]	[ e: ], [ ε ], [ ə ]	U	u	[u:]	[ u: ], [ υ ]
F	f	[εf]	[ f ]	V	v	[faυ]	[ f ]
G	g	[ge:]	[ g ]	W	w	[ve:]	[ v ]
H	h	[ha:]	[ h ]	X	x	[iks]	[ ks ]
I	i	[i:]	[ i: ], [ ι ]	Y	y	[ýpsilon]	[ y ]
J	j	[jot]	[ j ]	Z	z	[tset]	[ ts ]
K	k	[ka:]	[ k ]				
L	l	[εl]	[ l ]		ß	[εs-tsét]	[ s ]
M	m	[εm]	[ m ]				
N	n	[εn]	[ n ]	Ä	ä	[ε:]	[ ε: ], [ ε ]
O	o	[o:]	[ o: ], [ ɔ ]	Ö	ö	[ø:]	[ ø: ], [ œ ]
P	p	[pe:]	[ p ]	Ü	ü	[y:]	[ y: ], [ y ]



## 綴りと発音


### 1. 母音

■ 母音には長短の区別がある。母音が長く発音されることを示している綴りは以下のとおり

- 1) 母音の重複：Aachen アーヘン（ただし母音 i の場合には e を重ねる：Kiel キール）
- 2) 母音の後に h：Kehl ケール
- 3) アクセントのある母音でおわる音節：Bremen (Bre-men) ブレーメン
- 4) アクセントのある母音の後ろに単一の子音が続く：Graz グラーツ

■ 母音が短く発音されることを示している綴りは以下のとおり

母音の後に子音連続：die Kasse レジ (cf. der Käse チーズ)

長母音 	綴り	例	短母音	綴り	例 (´はアクセントのある音節)
[a:]	aa	das Haar [ˈha:] 髪の毛	[a]	a	harren [ˈharən] 辛抱する
	ah	die Bahn [ˈba:n] 鉄道			der Bann [ˈban] 呪い
	a	der Abend [ˈa:bənt] 晩			der Ast [ˈast] 枝
		die Tat [ˈta:t] 行動			das [ˈdas] それは、それを
[o:]	oo	das Boot [bo:t] ボート	[ɔ]	o	oft [ɔft] しばしば
	oh	das Ohr [o:ə] 耳			der Ort [ɔt] 場所
	o	der Ofen [o:fən] オープン			offen [ɔfən] 開いた
		das Tor [ˈto:ə] ゴール			der Topf [ˈtɔpf] 鍋
[u:]			[ʊ]	u	
	uh	die Uhr [ˈu:ə] 腕時計			der Kuss [ˈkʊs] キス
	u	das Ufer [ˈu:fə:] 岸			uns [ʊns] 私たちを
		tun [ˈtu:n] する			der Tunnel [ˈtʊnəl] トンネル
[e:]	ee	der Tee [te:] 紅茶	[ɛ] [ə]	e	das Bett [ˈbɛt] ベッド
	eh	die Ehre [ˈe:ʁə] 榮譽			gelb [ˈgɛlp] 黄色い
	e	die Theke [ˈte:kə] カウンター			die Decke [ˈdɛkə] 掛け布団
		der Weg [ˈve:k] 道			weg [ˈvɛk] 去って
[i:]	ie	bieten [ˈbi:tən] 提供する	[i]	i	bitten [ˈbitən] 頼む
	ih	Ihnen [ˈi:nən] あなたに			in [ɪn] …の中で
	i	die Bibel [ˈbi:bəl] 聖書			die Kirche [ˈkɪʁçə] 教会
		wir [ˈvi:ə] 私たちは			bis [ˈbɪs] …まで
[ɛ:]			[ɛ]	ä	
a ウムラウト	äh	die Krähe [ˈkræ:ə] カラス			krächzen [ˈkræçtsən] 鳴く
	ä	der Käse [ˈkɛ:zə] チーズ			die Äpfel [ˈɛpfəl] リンゴ (複数)
		der Bär [ˈbɛ:ə] クマ			der Lärm [ˈlɛəm] 騒音
[ø:]			[œ]	ö	
o ウムラウト	öh	die Höhe [ˈhø:ə] 高さ			der Löffel [ˈlœfəl] スプーン
	ö	der König [ˈkø:nɪç] 王			können [ˈkœnən] …できる
		das Öl [ø:l] 油			Köln [ˈkœln] ケルン
[y:]			[ʏ]		
u ウムラウト	üh	der Glühwein [ˈgly:vain] 熱燗ワイン			das Glück [ˈglyk] 幸福
	ü	hüten [ˈhy:tən] 大事にする			die Hütte [ˈhytə] 小屋
		die Tür [ˈty:ə] ドア			die Türken [ˈtʏʁkən] トルコ人

## 二重母音 5 綴り 例

[ au ]	au	das Haus [ˈhaʊs] 家
[ ɔɪ ]	eu äü	heute [ˈhɔɪtə] 今日 täuschen [ˈtɔɪʃən] 錯覚させる
[ ai ]	ei	das Eis [ˈaɪs] アイス
	ey	Meyer [ˈmaɪə:] マイアー (人名)
	ai	der Mai [ˈmaɪ] 五月
	ay	Bayern [ˈbaɪə:n] バイエレン

## 注意: 6

- ◆ ie は外来語で i, e と別々に発音されることがある。 die Familie [faˈmi: liə] 家族
- ◆ ドイツ語の名詞は大文字で書きはじめる

## II. 子音 7

■ アルファベットどおりの音価のほか、注意の必要な綴りと音価の対応関係がある

**-b, -d, -g** 音節末、語末の b, d, g は濁らない。それぞれ [ p ], [ t ], [ k ] と発音される  
der Stab [ˈʃta: p] 棒、das Lied [ˈli: t] 歌、der Tag [ˈta: k] 一日

**ch** a, o, u, au の広い母音の後にある場合は [ x ] と発音される  
das Dach [ˈdax] 屋根、noch [ˈnɔx] まだ、das Buch [ˈbu: x] 本、auch [ˈaux] ~も  
それ以外の場所では [ ç ] と発音される  
ich [ˈɪç] 私は、China [ˈçi: nə] 中国、das Märchen [ˈmɛəçən] お伽話

**-chs, x** [ ks ] と発音される  
der Fuchs [ˈfʊks] キツネ、der Text [ˈtɛkst] テキスト

**-ck** [ k ] と発音される  
die Brücke [ˈbrʏkə] 橋

**-dt** [ t ] と発音される  
die Stadt [ˈʃtat] 町

**h** 母音の後ろにある場合は、前の母音が長く発音される合図で h は発音されない  
sehen [ˈze: ən] 見る

**-ig** -ig の綴りの場合 g は [ ç ] と発音される  
der Honig [ˈho: nɪç] 蜂蜜

**j** [ j ] と発音される。英語の j の発音とは異なるので注意  
Japan [ˈja: pən] 日本

**-ng** -ng の綴りは鼻音 [ ŋ ] で発音される  
lang [ˈlaŋ] 長い

**pf** [ pf ] と発音される  
der Apfel [ˈapfəl] リンゴ



qu-	[kv] と発音される die Quelle [kvɛlə] 出典
r	口蓋垂を、語頭では数回震わせる [ʀ]、子音直後では1回震わせる [ʁ] で発音される rot [ʀɔ:t] 赤い、drucken [dʁʊkən] 印刷する それ以外では母音化して [ə] と発音される das Ohr [o:ə] 耳、der Durst [dʊəst] のどの渇き 語末で -er の場合は長母音化して [ɐ:] と発音される der Meister [maɪstɐ:] マイスター
s	s は母音の前では濁り、[z] と発音される。音節末、語末では濁らない die Sage [za:gə] 伝説、der Sinn [zɪn] 意義、der Bus [bus] バス
sp-, st-, sch	sp-, st- の綴りの中の s と sch は [ʃ] と発音される schnell [ʃnɛl] 速く、spielen [ʃpi:lən] プレイする、stehen [ʃte:ən] 立っている
ss, ß	濁らない [s] で発音される das Wasser [vasə:] 水、heiß [hais] 暑い・熱い
th	[t] と発音される das Thema [te:mə] テーマ
-tsch	[tʃ] と発音される Deutschland [dɔɪtʃlant] ドイツ
v	[f] と発音される。濁らないので注意 der Vater [fa:tə:] 父親
w	[v] と発音される。濁るので注意 der Wagen [va:gən] 車両、VW [faʊ've:] フォルクスワーゲン
z, -ds, -ts, -tz, -ti	いずれの子音も [ts] と発音される das Zimmer [tsɪmɐ:] 部屋、abends [a:bənts] 晩に、nachts [naxts] 夜に、 sitzen [zɪtsən] 座っている、die Aktion [aktʰi'ɔ:n] 行動

## 数字 (基数)



0	null	10	zehn				
1	eins	11	elf			21	einundzwanzig
2	zwei	12	zwölf	20	zwanzig	22	zweiundzwanzig
3	drei	13	dreizehn	30	dreißig	23	dreiundzwanzig
4	vier	14	vierzehn	40	vierzig	24	vierundzwanzig
5	fünf	15	fünfzehn	50	fünfzig	25	fünfundzwanzig
6	sechs	16	sechzehn	60	sechzig	26	sechszwanzig
7	sieben	17	siebzehn	70	siebzig	27	siebenundzwanzig
8	acht	18	achtzehn	80	achtzig	28	achtundzwanzig
9	neun	19	neunzehn	90	neunzig	29	neunundzwanzig



100	hundert	百
1 000	tausend	千
10 000	zehntausend	一万
100 000	hunderttausend	十万
1 000 000	eine Million	百万
10 000 000	zehn Millionen	一千万
100 000 000	hundert Millionen	一億
1 000 000 000	eine Milliarde	十億
10 000 000 000	zehn Milliarden	百億
100 000 000 000	hundert Milliarden	千億
1 000 000 000 000	eine Billion	一兆



596	fünfhundertsechsundneunzig
3 825	dreitausendachthundertfünfundzwanzig
15 000	fünfzehntausend
西曆 1986	neunzehnhundertsechsundachtzig
2008	zweitausendacht
1099	tausendneunundneunzig

## 数字 (序数)



1	<b>erst-</b>	11	elft-	21	einundzwanzigst-
2	<b>zweit-</b>	12	zwölft-	22	zweiundzwanzigst-
3	<b>dritt-</b>	13	dreizehnt-	23	dreiundzwanzigst-
4	viert-	14	vierzehnt-	24	vierundzwanzigst-
5	fünft-	15	fünfzehnt-	25	fünfundzwanzigst-
6	sechst-	16	sechzehnt-	26	sechszwanzigst-
7	siebt-	17	siebzehnt-	27	siebenundzwanzigst-
8	acht-	18	achtzehnt-	28	achtundzwanzigst-
9	neunt-	19	neunzehnt-	29	neunundzwanzigst-
10	zehnt-				

# Lektion 1

## Takao und Jürgen



Takao kommt aus Japan. Er studiert jetzt Germanistik in Würzburg. Jürgen studiert in Mannheim BWL. \*1 Sie sind schon lange befreundet. Jürgen besucht Takao in Würzburg.

**Takao** : Hallo, Jürgen. Wie geht's dir? \*2

**Jürgen** : Danke, gut. Und dir?

**Takao** : Danke, mir geht's auch gut.

**Jürgen** : Übrigens, wie findest du Würzburg?

**Takao** : Sehr schön. Die Stadt ist alt und sauber. Ich bin hier glücklich.

**Jürgen** : Gehen wir heute abend Wein trinken?

**Takao** : Ja, gern. Wohin gehen wir?

**Jürgen** : Spitalkeller? \*3

**Takao** : Gut, einverstanden. \*4

\*1 BWL [ be: ve: el ] = Betriebswirtschaftslehre: 「経営学」

\*2 geht's [ ge: ts ] = geht es : Wie geht's dir? 「調子はどう?」

\*3 Spitalkeller: ヴェルツブルク、ユリウス・シュピタールのワインセラー 「シュピタールケラー」

\*4 einverstanden: 「OK」、「了解」



## 1 動詞の現在人称変化

人称変化という動詞の変化がある。現在の事柄をあらわす動詞の現在形は、主語の人称（1人称、2人称、3人称）と数（単数、複数）に応じて人称変化する

13

不定詞 kommen 「来る」				
	単 数	複 数		
1人称	ich komme	wir kommen	独 英	
2人称	du kommst	ihr kommt	ich = I	wir = we
3人称	er kommt	sie kommen	du = you	ihr = you
2人称	Sie kommen		er = he	sie = they
			(←親称)	
			(←敬称)	Sie = you

- 1) **ich, du, er, wir, ihr, sie, Sie**は人称代名詞とよぶ。
- 2) 1人称、2人称のときの動詞は常に当該の人称代名詞を主語として用いられる。3人称の動詞の主語は一般名詞のことも多い、主語の名詞が単数名詞なら単数語尾 **-t** (Der Zug kommt. 列車が来る。)、複数名詞なら複数語尾 **-en** (Die Autos kommen. 自動車がある。)) になっている。
- 3) 動詞の変化する部分を**人称変化語尾**とよぶ。
- 4) 人称変化した動詞の形は**定動詞**もしくは**定形**とよぶ。
- 5) 人称変化しない、辞書に見出し語として出ている形は**不定詞**もしくは**不定形**とよぶ。たいてい **-en** という語尾をもつ。wandern 「ハイキングする」や lächeln 「微笑む」のように語幹が **-er, -el** でおわるごきのように語尾は **-n** のこともある。
- 6) 不定詞の語尾 **-en** を除いた部分 (**komm-**) を**語幹**とよぶ。
- 7) 2人称で、**親称 du** は家族、友人など親しい間柄で用いられる。それ以外は**敬称 Sie** を用いる。この **Sie** は常に大文字で始まる。人称変化は3人称複数の **sie** の場合と同じ。
- 8) 語尾が発音上多少変わる場合がある。
  - a) 語幹が **-t, -d**; 子音 (r と l を除く) + **m**, 子音 (r と l を除く) + **n** でおわる動詞では、**du, er, ihr** で人称変化語尾の前に発音しやすいよう **-e-** がはいる。

14

不定詞 finden 「見つける」				
	単 数	複 数		
1人称	ich finde	wir finden		
2人称	du findest	ihr findet	(←親称)	
3人称	er findet	sie finden		
2人称	Sie finden		(←敬称)	

その他：bitten 「頼む」、reden 「しゃべる」；atmen 「呼吸する」、rechnen 「計算する」

- a) 語幹が **-s, -ss, -ß, -tz, -z** でおわる動詞では **du** の人称変化語尾が **-t** となる。

15

不定詞 reisen 「旅行する」				
	単 数	複 数		
1人称	ich reise	wir reisen		
2人称	du reist	ihr reist	(←親称)	
3人称	er reist	sie reisen		
2人称	Sie reisen		(←敬称)	

その他：fassen 「掴む」、heißen 「～という名前である」、sitzen 「座っている」、tanzen 「踊る」

## 2 動詞 sein の現在人称変化

動詞 **sein** 「～である」は現在人称変化が不規則。本動詞としてのほか、完了形や状態受動の助動詞としても用いられる頻度の高い動詞

16

不定詞 sein 「～である」			
	単 数	複 数	
1 人称	ich <b>bin</b>	wir <b>sind</b>	
2 人称	du <b>bist</b>	ihr <b>seid</b>	(←親称)
3 人称	er <b>ist</b>	sie <b>sind</b>	
2 人称	Sie <b>sind</b>		(←敬称)

◆ 形容詞や名詞を伴って述語として用いられる。

Ich **bin gesund**. 私は健康です。  
 Jürgen **ist Student**. ユルゲンは学生です。

## 3 文の種類

ドイツ語では、**主文**と**副文**を区別する。主文では定動詞が文頭から2番目にくる（定動詞／定形第2位）

### 1) 主文 17

◆ それ自体で独立して、他に依存していない文を「主文」とよぶ。主文では定動詞が文頭から2番目の位置にくる。それ以外の文肢の位置は比較的自由。主語がいつも文頭にくるとは限らない。疑問文では、Ja「はい」、Nein「いいえ」で答えられる「決定疑問文」の場合、定動詞を文頭におく。w-ではじまる疑問詞を用いる「補足疑問文」では疑問詞が文頭にきて定動詞がそれにつづく。

平叙文

Herr Schmidt **kommt** heute pünktlich. シュミットさんは今日時間通りに来る。  
 Heute **kommt** Herr Schmidt pünktlich. 今日シュミットさんは時間通りに来る。

疑問文

**Kommt** Herr Schmidt morgen? シュミットさんは明日来ますか？（決定疑問文）  
 Ja, er kommt morgen. はい、明日来ます。  
 Nein, er kommt schon heute. いいえ、もう今日来ます。

**Wann** kommt Frau Schmidt? いつシュミットさんは来ますか？（補足疑問文）  
 Sie kommt heute. 今日来ます。

◆ 人称代名詞は主文では定動詞の直前か直後におかれる。

### 2) 副文

◆ それ自体で独立してなく、他の文や文肢に掛かっていく文を副文とよぶ。副文では定動詞が文末にくる。詳細は従属の接続詞のところであつかう（Lektion6, 26 頁参照）。

## 練習問題

- ① 括弧内の動詞を人称変化させて下線部に入れ、和訳してください。
- (1) \_\_\_\_\_ du Deutsch? – Ja, ich \_\_\_\_\_ Deutsch. (lernen)
- (2) Was \_\_\_\_\_ ihr? – Wir \_\_\_\_\_ Tee. (trinken)
- (3) Wie \_\_\_\_\_ du? – Ich \_\_\_\_\_ Klaus. (heißen)
- (4) Was \_\_\_\_\_ Sie heute? – Ich \_\_\_\_\_ Tennis. (machen, spielen)
- (5) Petra \_\_\_\_\_ sehr schnell. (reden)
- ② 下線部に sein を人称変化させて入れ、和訳してください。
- (1) \_\_\_\_\_ Sie Japaner? – Ja, ich \_\_\_\_\_ Japaner.
- (2) \_\_\_\_\_ du heute zu Haus? – Ja, ich \_\_\_\_\_ zu Haus.
- (3) Frau Kühn \_\_\_\_\_ sehr nett.
- (4) Herr und Frau Schneider \_\_\_\_\_ nett.
- ③ 語順を換えて文を書き換え、和訳してください。
- (1) Ich trinke sehr gern Wein.  
→ Wein \_\_\_\_\_ .
- (2) Wir spielen morgen Fußball.  
→ Morgen \_\_\_\_\_ .
- (3) Beate studiert in Leipzig, aber sie wohnt in Berlin.  
→ Beate studiert in Leipzig, aber in Berlin \_\_\_\_\_ .
- ④ 次の日本語の文を括弧内の単語を用いてドイツ語の文になおしてください。
- (1) 私は歩いて行きます。(ich, zu Fuß, gehen)  
\_\_\_\_\_
- (2) ペーターはひとりで住んでいます。(Peter, allein, wohnen)  
\_\_\_\_\_
- (3) 君たち疲れた?—うん、疲れた。(ihr, müde, sein)  
\_\_\_\_\_